



1_ 部屋を細かく仕切っていた壁やふすまを除いて、開放感あるリビングに。状態の良かった柱や床・天井はそのまま使用。2_ 住まいの反対は草の生い茂った急斜面になっているため、カーテンは設置せずあえて草のグリーンを見せることで、空間にさらなる開放感と色彩のコントラストをプラス。3_ 格子の引き戸や組子細工の欄間が、和の趣をさらに演出。



伝統美と快適さの調和が生み出す
古民家での贅沢で心豊かなひととき

木々の緑や澄み切った川など、周囲を美しい自然に囲まれた町の小高い丘の上にたたずむ「軒」の古民家。圧巻のロケーションに加え、築100年は超えているであろう古民家の重厚な趣に惹かれ、この住まいを購入したとある夫婦。ご主人は日本をこよなく愛するアメリカ人。なかでも日本建築への思い入れは特に強かった。しかし、購入した古民家は、かつて蕎麦店として使われていたほか、何度も持ち主が変わることによる度重なる増改築で本来の姿を失っていた。

そこでリフォームを依頼したのが、自然素材を生かした住まいづくりと古民家再生に長けた『スペースマイン』。柱や梁、建具など状態の良い部分はできる限り残しつつ、新たに建て替えた箇所にも伝統的な日本建築の技法を取り入れ「日本らしさ」を追求。その一方で、各所断熱施工と新設した断熱サッシを用いて断熱性を高め、耐震性を高めるために十分な補強を施すなど住む人への配慮も忘れない。こうして完成したのは、日本の伝統美と快適さが調和する理想の住まい。今では夫婦のセカンドハウスとして、週末になるとここでゆったりとした時間を楽しんでいるという。

夫婦が憧れた 「日本らしさ」を追求

再生のポイント

- ✓ 随所に“日本らしさ”を追求
- ✓ 景観を楽しむ間取り
- ✓ 断熱サッシで性能向上
- ✓ 古いものを生かしたデザインセンス
- ✓ 自然素材をふんだんに使用

施工 株式会社 スペースマイン
築年数 100年
プランニング期間 5カ月
施工期間 5カ月



1_2階の廊下兼縁側の床にはあえて節有をセレクトした吉野杉を使用。また、天井は外し梁現しにし、木の魅力を最大限に。2_元ダイニングは、読書を楽しむ図書室に。3_通路に置かれたテーブルはご主人が選んだ杉の天板をベースに、脚の部分はご自身でDIY。その上には、宇宙の響きを伝えるという楽器ハンドパン。奥様が原風景を眺めながら演奏し、ゆったりと癒しの時間を楽しむのだという。4_他家のリフォーム時に廃棄予定だった屋久杉の一枚板。立派で素晴らしいので当社が持ち帰り、重厚感ある欄間にリメイクされた。



株式会社スペースマイン
https://spacemine.co.jp

掲載企業
DATAページ
149頁

関連ページ
46・48・88頁



BEFORE



AFTER

A_蕎麦店の事務所として使われていた閉鎖的な空間が、広々と開放的な応接間になりました。B_キッチンも、土間を床あげし、使い勝手が格段に向上しました。100年物の立派な梁は虫食いのあった箇所だけ削り生かしました。C_昔の日本建築でよく見られた急階段は、段差を増やし角度を緩やかにして、昇降しやすく変更しました。



AFTER



BEFORE



BEFORE



AFTER

改修に携わった担当者



ホームアドバイザー
吉村卓也

2級建築士・2級福祉住環境コーディネーター、既存住宅状況調査技術者・住宅リフォームエキスパートの資格を持つ。子供のころから住宅建築に興味があり、さまざまな経験を積んだリフォームのプロ。